



1月7日(火)

この世界のすべてが神様の御手のうちにあります

聖書朗読 詩篇 147篇

御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。

コロサイ 1:17

万有引力の法則を説明することはできますか。私は重力理論についての科学的な説明を読んだことがあります。自分が説明できるとは思えません。

さらに重要なことは、私たちが重力理論にこだわる理由です。その答えは、不可解なものを説明しようとする私たち人間の探求の中に見つかるはずで

なぜ、どのようにして恋に落ちるかについての本を書いている人たちがいますが、そういう人たちも、自分がいざ恋に落ちると、他の多くの人たちと同じように、どうしていいのかわからなくなるものです。あらゆる種類の気象現象を説明し予測しますが、南米の火山の噴火を阻止することも、その世界的な影響を制御することもまだできていません。

すべての自然界が同じことを言っているように思えます。“皆さん、こんにちは。あなた方はこの宇宙の支配者ではありませんよ。目には見えませんが、森羅万象をご支配されている神様の御手が存在しているのです。”

あなたの人生を支えているのは誰ですか。自分で自分の人生を完璧にコントロールできていますか。ときどきコントロールできているように思うものです。でも、願わくば、自分のコントロールの欠陥に気づいて、すべてを本当にコントロールしてくださっている方がどなたであるのか心に留めたいと思います。人生の不確実性は神様への信頼を強めるのに役立つことがよくあります。神様はすべてのものを創造され、すべてのものをまとめなお方です。どんなときでも、神様を信頼して、お頼りしましょう。

讃美歌 90 ここも神の みくになれば

祈り 主、創造主、宇宙をご支配される方。私たちの盲目を赦し、すべての傲慢さを癒してください。神様はおひとりだけで、私たちは神ではありません。

イエス様のお名前において。アーメン。

カンザス州 オーバーランド・パーク / ダン・ナイト

1月8日(水)

ひと呼吸ごとに

聖書朗読 詩篇 150篇

神の霊が私を造り、全能者の息が私にいのちを与える。

ヨブ 33:4

今、この瞬間、自分が何をしましたか気づきましたか。ほら、今もしましたよ。あなたは息をしたんです。私たちは毎日、約23000回、呼吸しますが、その呼吸の1回について、最後に神様に感謝したのはいつですか。

酸素を吸い込んで二酸化炭素を吐き出すプロセスは、生理的な緻密さを要する複雑な呼吸運動です。呼吸するたびに横隔膜が収縮し、肺が膨張し、無数の細胞が調和して働いて、私たちの生命を維持します。このプロセスは自動的に行われるため、私たちは特に気にせず、当たり前のように思っています。

ハッとするほど美しい夕日、子どもの誕生、あるいは純粋な喜びの瞬間など、息を呑むような出来事があると、私たちは神様に感謝するものです。もちろん、それは素晴らしいことで、こうした瞬間はまさに感謝と畏敬の念に値しますが、そのほかのすべての呼吸1つ1つについても、神様に感謝すべきなのではないでしょうか。

小さな奇跡が起こるたびに、そして、ひと呼吸のたびに、神様に感謝せずにはいられないほどの感謝の気持ちで心が満たされるよう祈りましょう。ひと呼吸、ひと呼吸が神様からの贈りものなのです。

讃美歌 465

祈り 親愛なる主。息をするたびに、あなたを見て、あなたに感謝するように、私に感謝の気持ちを与えてください。イエス様のお名前において。アーメン。



テキサス州 ハンツビル / ジェフ・ダン

1月9日(木)

贈りものをむだにしない

聖書朗読 箴言 16:31

しらがは栄光の冠、それは正義の道に見いだされる。

箴言 16:31

年をとりたいと思う人がいるでしょうか。“老い”と言うのは10代の人と中高年の人を比較する言葉なのかもしれません。でも聖書には『しらがは栄光の冠』であり、『年の多い者が知恵を教える』（訳注：ヨブ 32:7）と書いてあります。メジャーリーグの実況アナウンサーであったビン・スカリーはかつて「明日の日数よりも昨日の日数の方が多くなってきた」と言いましたが、私もまったく同感です。

教会のメンバーが高齢化しても心配する必要はなく、むしろ大きな霊的機会となる可能性があります。教会はご高齢の方たちを無用のではなく、感謝すべき贈りものとして扱うべきです。また高齢者たちは、若さを保つことに執着するよりも、祈りと良い行ないを通して神様に栄光を帰することに時間を費やす方がいいように思えます。

教会の年長者が、若い世代の人たちに影響を与えることができるなんて、なんて素晴らしいことでしょう。根気と時間を要するかもしれませんが、私の経験では、若い人たちが私たちのことをよく知れば、友情や知恵を求めようになると思います。年長の皆さんは、若い世代と友達になりましょう。

ラルフ W・エマーソンはこう書いています。「人生の目的は幸せになることではない。人生の目的は、自分が人の役に立つこと、活かされること、人から敬愛されるに値する人になること、思いやりや共感の心を持つこと、そして、自分が生きたという実感、しっかり生きたという実感を得ることである。」私たち年配者が教会と周りの人々に祝福をもたらしますように。時には楽しい笑いもありますように。

讚美歌 191

祈り 親愛なる主。あなたにいのちを与えていただいたことに感謝し、私たちのいのちは御手のうちにあることを知っています。全生涯をかけてあなたをたたえます。私たちは年を重ねつつ、あなたへの奉仕において周りの人たちに優しさと思いやりを示し、充実した人生を送りたいと願っています。イエス様によりてお祈りします。アーメン。

カリフォルニア州 サウザンド・オークス / スーザン K・ギボニー

1月10日(金)

助けて下さる神様

聖書朗読 イザヤ書 41:8~10

火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎はあなたに燃えつかない。

イザヤ 43:2

この世界はかなり恐怖に満ちた場所にもなりえます。真面目な良い人に悲運が訪れることもあるからです。私たちの多くは、誰にも分かち合ったことのない悲しみに打ちひしがれた経験をしているのではないのでしょうか。そして、そのようなことを思い出す度に、当時を思い出し、極度に心配したり、恐れしたりして、目に涙が溢れてくるのではありませんか。

人がこの世界に怖さを感じた時、一番やってはいけないことは、その恐れている人々に、「そんなこと恐れることはないですよ」と言うことです。その人は、今まで経験したことのない困難や将来手に負えないことが起こるかもしれないという不安、予想のつかないことに恐れを持っているからです。もし今、目の前に以前経験したことより大変なことが起こったらどうしますか。その時、あなたは人に「怖がることはありません」と言うことができますか。

人間である私たちが、「そんなこと怖がることはありませんよ」というのは、人を慰めることにはなりません。しかし、神様がいつも私たちと共にいて下さるというお約束をして下さるなら話は別です。そして、もし神様が私たちに、「人生を恐れに支配されてはいけません」と言ったとしたら。

神様は、私たちといつも一緒にいて下さり、誰も与えることができない力を私たちにお与えになることができます。神様は闇に立ち向かうことができるように、私たちを奮い立たせてくださいます。また神様は万能の御力により、この危険が差し迫っているような世の中において、私たちの盾となって私たちをしっかりと立たせてくださいます。

讚美歌 405

祈り 天のお父様、時々、私はとても恐れてしまいます。多くのことが自分ではコントロールできないと思ってしまうのです。どうか、わたしから離れていないで下さい。私のもとに来てください。イエス様のお名前により。アーメン。

ノースカロライナ州 ヘンダーソンヴィル / イーサン・ブラウン

1月11日(土)

## あなたはわたしのもの

聖書朗読 イザヤ書 43:1~13

あなたには、すべてができること、あなたは、どんな計画も成し遂げられることを、  
私は知りました。  
ヨブ 42:2

説教が終わり、礼拝の最後の讃美が始まろうとしたその時、礼拝者の中から手が上がりました。その方は、今日初めて礼拝に参加した18歳くらいの女性でした。その場で彼女は突拍子もない質問をしました。それは、彼女がネット上で目にした怖いものについての質問でした。しかし、その質問は突飛な質問でした。

礼拝後に彼女と話して分かったことは、彼女が近くの教会の礼拝に参加しない時には、家でテレビの虜とりこになっているということでした。数々の恐ろしいことをテレビから日々取り込んで、手をぎゅっと握りしめて、そわそわして、これから本当にひどいことが起こると怯えながら過ごしていたのです。彼女と更に会話を続けると、インターネットにも依存していて、そこに描かれている未来に怯え、深い恐怖の中にいたのです。

しかし、主を信じる者に恐れはありません。今日の聖書の箇所では、ユダの人々が大変な出来事を経験した後のことが書かれています。そして、イザヤは、神様が語られたことばを記しています。『恐れるな。わたしがあなたを贖ったのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。』(イザヤ43:1)

今、私たちが主にあって誠実に生きることが、自由に生きるということです。神様は私たちをこう言って安心させて下さいます。『あなたが水の中を過ぎるときも、わたしはあなたとともにおり』(イザヤ43:2)。つまり、今私たちは心配する必要がないのです。神様はいつも私たちと共にいて下さるからです。

讃美歌 292

祈り 愛するお父様、あなたを見上げるのではなく下を見てしまいます。あなたの御力に頼らないことが多いです。私たちがあなたの御名を背負っており、あなたのものであることに慰めを得ることが出来ますように。イエス様の御名によって。  
カリフォルニア州 マーセド / ブルース W・ローグ

1月12日(日)

## ソウルフード

聖書朗読 イザヤ書 55:1~3

主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ。彼に身を避ける者は。  
詩篇 34:8

栄養についての最近の記事に、最新のダイエットとそれにより健康面でどのような効果が私たちの身体にもたらされるかということが書かれていました。今日、私たちは肉体の健康を重視する傾向が強いです。一方、マタイの福音書4章4節の悪魔に対するイエス様の応答は、「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。」です。

私とその記事の中で特に気付いたことは、そのダイエットの最終目標は、正しい食生活を実行し、より健康な自分になるということなのですが、それは霊的なダイエットを実行することにも通じるということです。身体的ダイエットは、よりよい食習慣を選択し、健康の長期的利点に焦点をあて、健康的なライフスタイルを生きるということです。

一方、霊的ダイエットの観点から見ると、減量とは『. . . いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて. . .』(ヘブル 12:1) 生きるということなのです。

神様が下さった全てにおいて、私たちは良き管理者でなければいけません。私たちが日々選択する一つ一つが私たちの発言、思考、行動すべてを決定するからです。日々の生活に欠かせない“いのちのパン”をおろそかにし、身体のための食事により多くの思考とエネルギーを注ぐとき、私たちは霊的に栄養失調になるかもしれません。どちらのダイエットもとても大事ですが、あなたの人生において最も大切なのはどちらでしょうか。

讃美歌II 191 主のまことはくしきかな

祈り 敬愛する主よ、私たちの生活に必要な糧を全て与えて下さってありがとうございます。私たちは、あなたがお約束を守って下っていますことを感謝します。イエス様のお名前により。アーメン。

フロリダ州 ジャクソンヴィル / プルーデンス C・ウィリアムス